

2002 年秋季年会

年会プログラム

於 宮崎シーガイア

2002 年 10 月 7 日 (月) ～ 10 月 9 日 (水)

日 本 天 文 学 会

<年会プログラムは、取り外せます。>

日本天文学会 2002 年秋季年会プログラム

場 所 宮崎シーガイア (案内図参照)

〒 880-8545 宮崎市山崎町浜山

電話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2002 年 10 月 6 日 (日) ~ 10 月 9 日 (水)>

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
10月6日 (日)							公開講演会							
									記者会見					
10月7日 (月)	A		T. 銀 河 団			(理事 会)	昼 休 み	ポ ス タ ー	T. 銀河団／R. 銀河			特別 セ ッ シ ョ ン I	特別 セ ッ シ ョ ン II	
	B		V. 地 上 観						V. 地 上 観					
	C		Q. 星 間						Q. 星 間					
	D		S. 銀 河 核						S. 銀 河 核					
	E		K. 天力／L. 太陽系						L. 太陽系／U. 宇宙論					
	F		B. 宇宙流体						B. 宇宙流体					
	G		N. 恒 星						N. 恒 星					
10月8日 (火)	A		R. 銀 河			(評議 員会)	昼 休 み	ポ ス タ ー	R. 銀 河			総 会 ．．．受 付 終 了 ．．． 総 会 出 席 者 確 認		懇 親 会
	B		V. 地 上 観						V. 地上観／Y. 教育					
	C		Q. 星 間／M. 太 陽						M. 太 陽					
	D		P. 星・惑星						P. 星・惑星					
	E		U. 宇宙論／W. 飛翔観						W. 飛 翔 観					
	F		C. 公開講座						D. 高 赤 方					
	G		N. 恒 星						N. 恒 星					
10月9日 (水)	A		R. 銀 河			ポ ス タ ー	昼 休 み	R. 銀 河						
	B													
	C		M. 太 陽					M. 太 陽						
	D		P. 星・惑星					P. 星・惑星						
	E		W. 飛 翔 観					W. 飛 翔 観						
	F		D. 高 赤 方					D. 高 赤 方						
	G		A. 突発天体					A. 突発天体						

A 会場 : ファウンテンルーム (2F)

B 会場 : オーチャードルーム (2F)

C 会場 : 瑞洋 (3F)

D 会場 : 海峰 (3F)

E 会場 : 天玉 (4F)

F 会場 : 天蘭 (4F)

G 会場 : アイポリールーム (4F)

受 付 : ロビー (2F)

ポスター会場 : 樹葉 (4F)

昼食会場 : 天瑞 (4F)

総会会場 : A会場

会議室 : ジブラルタル (2F)

懇親会場 : シェラトンフェニックスゴルフリゾート

◎講演数・参加費用

講演数：合計 591

(口頭講演 (a)：331、ポスター講演 (b)：193、ポスター講演 (c)：67)

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 7 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、10 月 7 日の 9:30 から 10 月 9 日の 13:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

◎会期中の行事

1. 公開講演会：6 日 (日) 13:00 ~ 16:00
宮崎市民プラザ オルブライトホール
2. 記者会見：6 日 (日) 15:00 ~
ワールドコンベンションセンター サミット
学会講演の中から、3 ~ 4 のトピックスを選び、記者会見を行います。
3. 理事会：7 日 (月) 12:00 ~ 13:00 会議室
4. 特別セッション I：7 日 (月) 16:00 ~ 18:00 A 会場
5. 特別セッション II：7 日 (月) 18:00 ~ 19:00 A 会場
6. 評議員会：8 日 (火) 12:00 ~ 13:00 会議室
7. 総会：8 日 (火) 16:00 ~ 17:30 A 会場
(16:00 ~ 16:30 総会出席者確認、16:30 総会開始)
主な議題 = ○新役員 (理事、監事) の承認
○選挙管理委員の承認
○2003 年度事業計画 (案)
○2003 年度収支予算 (案)
8. 懇親会：8 日 (火) 18:00 ~
シェラトンフェニックスゴルフリゾート

◎特別セッションⅠ「法人化と天文学研究の将来について」

主催：日本学術会議天文学研究連絡委員会、日本天文学会

2004年を目途に国立大学および大学共同利用機関の法人化が進められようとしています。法人化が実施されると研究・教育・運営の体制がこれまでと大きく異なることが予想され、各大学・研究所・共同利用機関においてさまざまな組織改革の議論がなされていることと思います。本特別セッションにおいては、法人化への移行の実体を交流しながら、天文学研究をいかに持続的に発展させていくかについて討論を行いたいと考えています。多くの方々の参加と活発な討論を期待しています。

日 時 : 2002年10月7日(月) 16:00～18:00
場 所 : A会場(ワールドコンベンションセンターサミット2F)
内 容
(第1部) 各機関からの報告(敬称略)
国立天文台から 海部宣男
宇宙科学研究所から 松本敏雄
大学から 岡村定矩、もう1人予定
宇宙線研究所から 黒田和明
(第2部) パネル・ディスカッション
司 会: 池内 了
パネラー: 上記報告者
世 話 人 : 池内 了、福島登志夫、柴田一成

◎特別セッションⅡ「始まるアルマ建設と日本の参加計画」

主催：日本学術会議天文学研究連絡委員会
日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会
日本学術会議電波科学連絡委員会J分科会
日本天文学会
国立天文台電波専門委員会 ALMA計画推進小委員会

北アメリカ、ヨーロッパ、そして日本が協力して南米チリのアンデス高地に建設しようと計画している、巨大ミリ波サブミリ波望遠鏡アルマ(ALMA=Atacama Large Millimeter/submillimeter Array)。アメリカ合衆国の建設予算承認、ヨーロッパ南天天文台ESOの建設開始承認にともない、アルマの建設はいよいよ今年中にも開始される状況となりました。その中で、今年度から2年計画の研究開発予算が終了する2004年度に建設予算獲得をめざす日本は、北米・欧州にやや遅れての参加となることに伴い、参加計画の組み直しを進めています。

本セッションでは、アルマ計画の最新状況とともに、日本がどのような形でアルマに参加しようとしているかを広く天文学コミュニティの皆さんにお伝えし、ご意見をうかがいたいと思います。多くの方々の参加をお願いいたします。

日 時 : 2002年10月7日(月) 18:00～19:00
場 所 : A会場(ワールドコンベンションセンターサミット2F)
世 話 人 : 長谷川哲夫、池内 了、福井康雄

◎日本天文学会公開講演会

共催：宮崎科学技術館
後援：宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、
宮崎日日新聞社、読売新聞西部本社、
宮崎県天文協会

テーマ：「すばる」望遠鏡がとらえた宇宙の姿と天文研究

日時：2002年10月6日（日）13：00～16：00（12：30会場）
場所：宮崎市民プラザ・オルブライトホール（宮崎市橋通西）
対象：中学生以上・一般向け

講演Ⅰ：星のかけらから探る太陽系の始まり
ーしし座流星雨と星の王子さまのふるさとー

講演者：宇宙科学研究所・助手 矢野 創

地球には、今も毎日100トンもの宇宙物質が降り積もっています。その99%以上は1mmに満たないチリが占めており、多くは太陽や惑星が生まれた時代の「化石」、小惑星と彗星のかけらです。その証拠が地表で見つかる隕石や宇宙塵と、夜空に輝く流れ星です。そして顕微鏡を使った隕石の分析データと、望遠鏡を使った始原天体の観測データを橋渡しするのが、実際に始原天体を訪ねる探査機の役目です。分析・観測・探査という異なる研究方法を正しく組み合わせて初めて、私たちは太陽系を始めとする惑星系の進化に関する理論をより確かなものへ育てていけるようになります。この講演ではその実例として、今年11月にも大出現が予報されているしし座流星雨と、同じ頃鹿児島県内之浦から打ち上がる世界初の小惑星サンプルリターン計画「MUSES-C」を取り上げ、最先端の研究が描く太陽系と私たち生命の起源について、やさしく紹介いたします。

講演Ⅱ：見えてきた「すばる」の誕生
ーハワイから探る星・惑星系の生い立ちー

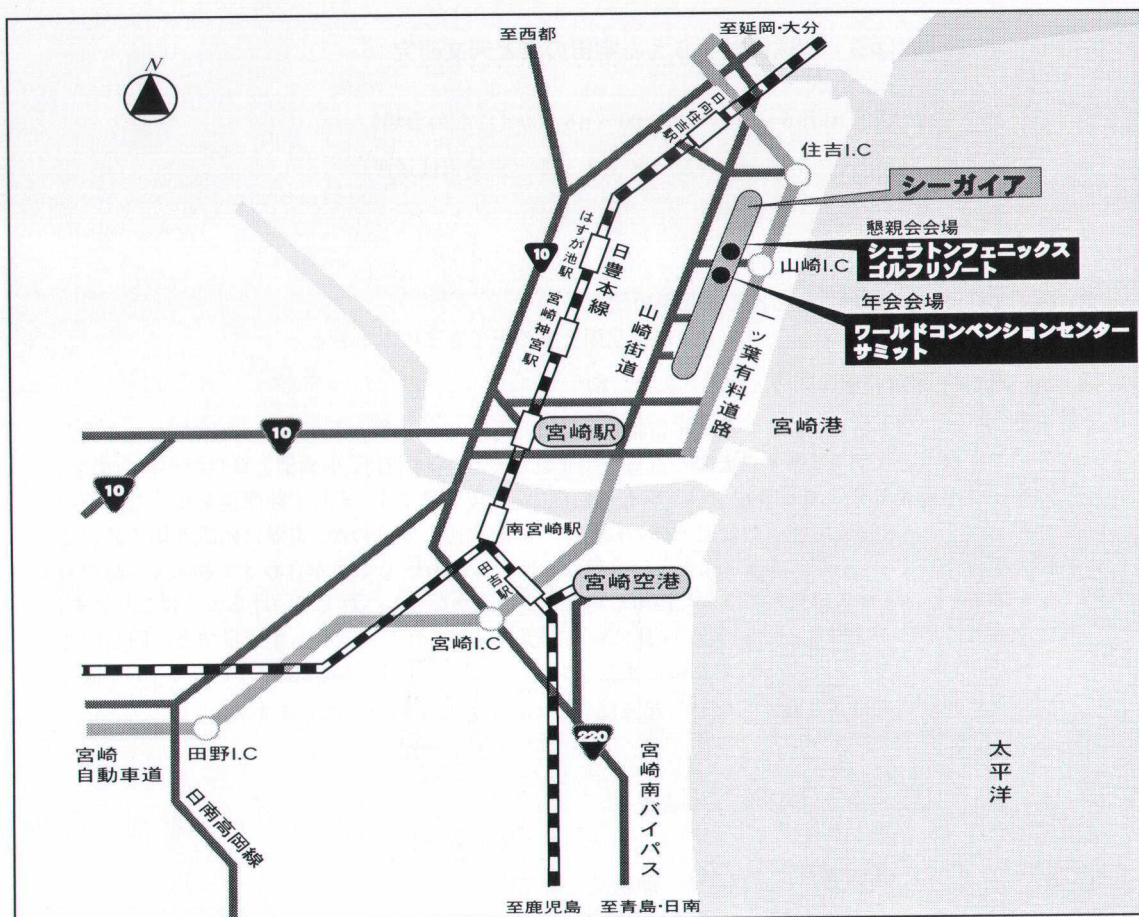
講演者：国立天文台ハワイ観測所・助教授 林 左絵子

大気の影響をできるだけ避けようとして、標高4200mなどという高地に望遠鏡すばるを設置したのは、高感度の赤外線観測を目指してのことであった。濃い星間雲に隠されている星の誕生の現場も見通すことが可能になる。地球のような惑星の誕生の経過を探るなら、実は銀河系の中にたくさんあり、また続々と誕生している、太陽に似たような星々の生まれる状況が手がかりをくれるはずだ。これまで各所で行われた観測により、地球に比べてかなり重い惑星の存在は観測的に十分に確立した。

しかし、地球のような惑星は本当にあるのだろうか。また生命の誕生につながるような水は、果たしてあるのだろうか。惑星の姿を直接とらえようとするくわだてとともに、分光観測からも地球に似た環境探しが試みられている。「すばる」望遠鏡がこれらの問いに答えようとしている、その挑戦の様子をお伝えしたい。

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。なお、駐車場は混み合うこともございますので、できるだけ公共の交通機関をご利用下さい。

秋季年会会場（シーガイア）のご案内



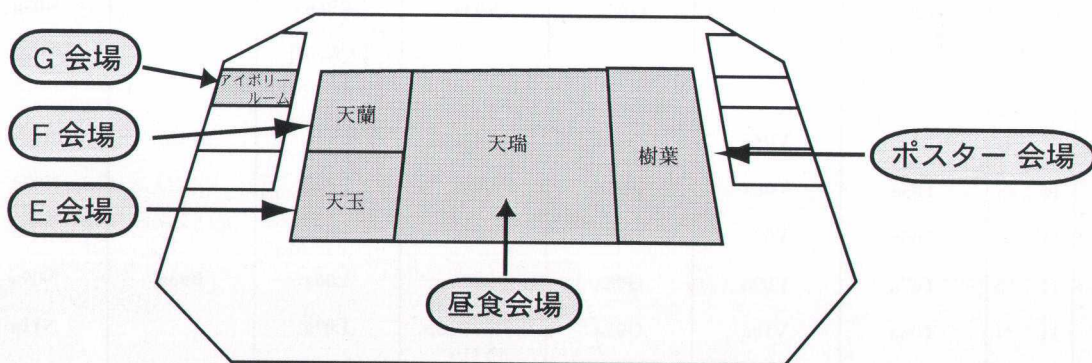
交通案内

宮崎空港から バス40分（800円）、 タクシー30分（3,800円）
8：30～19：00 30分毎に運行

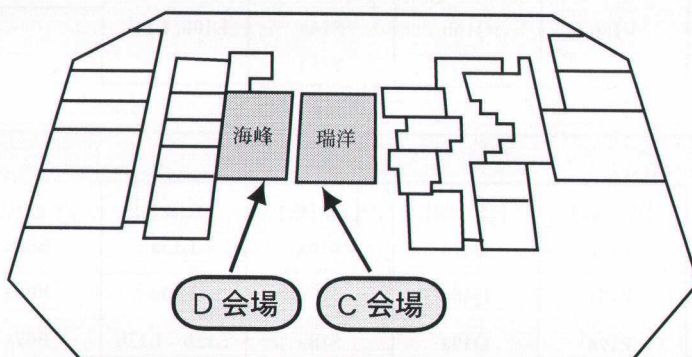
宮崎駅から バス30～40分（340～520円）、タクシー25分（2,500円）
7：45～21：15 30分毎に運行

年会会場案内図

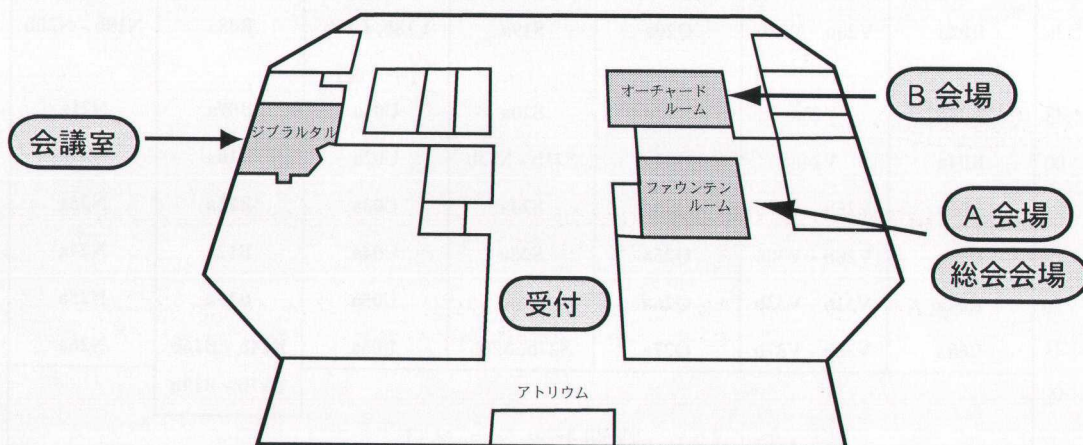
ワールドコンベンションセンター サミット



4F



3F



2F

口頭セッション 10月7日(月)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀河団】	【地上観】	【星 間】	【銀河核】	【天 力】	【宇宙流体】	【恒 星】
10：00	T01a	V01a	Q01a	S01a	K01a	B01a	N01a
10：12	T02a	V03a	Q02a	S02a	K02b - K04b		N02a
10：24	T03a	V04a	Q03a	S03a	K06b		N03a
					【太陽系】 L01b, L02b		
10：36	T04a	V05a	Q04a	S04a	L03a	B02a	N04b - N06b
10：48	T05a	V06a	Q05a	S05a	L04a		N07a
11：00	T06a	V08a	Q07a	S06a	L05a		N08a
11：12	T07a	V09a	Q08a	S07a	L06a	B03a	N09a
11：24	T08a	V10a	Q09a	S08b, S10b, S11b	L07a		N11a
11：36	T09a	V11a	Q10b - Q12b	S12a	L08a	B04a	N12a
11：48	T10a	V12b - V14b	Q13b - Q15b	S13a	L09a		N13a
12：00		V15b	Q16b	S14a S15a	L10b, L11b		
昼休み							
13：00	ポスター						
	【銀河団】	【地上観】	【星 間】	【銀河核】	【太陽系】	【宇宙流体】	【恒 星】
14：00	T11a	V17a	Q17a	S16a	L13a	B05a	N14a
14：12	T12b - T14b	V18a	Q18a	S17a	L14a	B06a	N16a
14：24	T15b, T16b	V19a	Q19a	S18a	L15b - L17b	B07a	N17a
	【銀 河】 R01b						
14：36	R02a	V20b - V22b	Q20a	S19a	L18b, L19b	B08a	N18b - N20b
					【宇宙論】		
14：48	R03a	V23a	Q21a	S20a	U01a	B09a	N21a
15：00	R04a	V24a	Q22a	S21b - S23b	U02a	B10a	N22a
15：12	R05a	V25b - V27b	Q23a	S24a	U03a	B11a	N23a
15：24	R06a	V28b - V30b	Q25a	S25a	U04a	B12a	N24a
15：36	R07a	V31b - V33b	Q26a	S26a	U05a	B13a	N25a
15：48	R08a	V35b - V37b	Q27a	S27b, S28b	U06a	B14b - B16b	N26a
16：00						B17b - B19b	
特別セッション I							
18：00	特別セッション II						

口頭セッション

10月8日(火)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀河】	【地上観】	【星間】	【星・惑星】	【宇宙論】	【公開講座】	【恒星】
09:30	R09a	V38a	Q28a	P01b - P03b	U07a	C01a	N27a
09:42	R10a	V39b - V41b	Q29a	P04b, P06b, P08b	U08a	C02a	N28a
09:54	R11a	V42a	Q30a	P11b - P13b	U09a	C03a	N29b - N31b
10:06	R12a	V43a	Q31b - Q33b	P14b - P16b	U10b - U12b	C04a	N32a
10:18	R13a	V44a	Q34b, Q35b, Q37b	P17b - P19b	U13b, U14b		N33a
10:30	R14a	V45a	【太陽】 M01a	P20b - P22b	【飛翔観】 W01a	C05a	N34a
10:42	R15a	V46a	M02a	P25a	W02a	C06a	N35a
10:54	R16a	V47a	M03a	P26a	W03a	C07b - C09b	N36a
11:06	R17a	V48a	M04a	P27a	W04a		N37a
11:18	R18a	V49a	M05a	P28a	W05a	C10a	N38a
11:30	R19a	V50a	M06a	P29a	W06b-W08b	C11b - C13b	N39a
11:42	R20a	V51a	M07b, M09b, M10b	P30a	W09b-W11b	C14b, C15b	N40a
11:54	R21b - R23b	V52a	M11b	P31a	W12a		N41b - N43b
12:00	昼休み						
13:00	ポスター						
	【銀河】	【地上観】	【太陽】	【星・惑星】	【飛翔観】	【高赤方】	【恒星】
14:00	R27a	V53a	M12a	P32a	W13b, W15b, W16b	D01a	N44a
14:12	R28a	V54b, V55b, V57b	M13a	P33a	W17b-W18b		N45a
14:24	R29a	V61a	M14a	P34a	W19a	D08a	N47b, N49b, N50b
14:36	R30a	V62b - V64b	M15a	P35a	W20a		N53a
14:48	R31b - R33b	V65b - V67b	M16a	P36a	W21a		N54a
15:00	R34b, R38b, R39b	【教育】 Y01a	M17a	P37a	W22a		N55a
15:12	R41b - R43b	Y02a	M18a	P38a	W23b-W25b		N56a
15:24	R44a	Y03b - Y05b	M20a	P39a	W26b, W28b, W29b		N57a
15:36	R45a	Y06b - Y08b	M21a	P40a	W30a		N58a
15:48	R46a	Y09b	M22a	P41a	W31b-W33b		N59a
16:00	総会 (A会場)						
17:30	(16:00~16:30 総会出席者確認)						
18:00	懇親会 (シェラトンフェニックスゴルフリゾート)						

口頭セッション

10月9日(水)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀 河】		【太 陽】	【星・惑星】	【飛翔観】	【高赤方】	【突発天体】
09:30	R47a		M23a	P42a	W34a	D09a	A01a
09:42	R48a		M24a	P43a	W35a		A02b - A04b
09:54	R49a		M25a	P44a	W36a	D17a	A05a
10:06	R50a		M26b - M28b	P45a	W37a		A06a
10:18	R51a		M29a	P46a	W38a		A07a
10:30	R52a		M30a	P47a	W39a		A08a
10:42	R53a		M31a	P48a	W40a		A09b, A11b, A12b
10:54	R54b - R56b		M32a	P49a	W41a		A14a
11:06	R57b - R59b		M33a	P50a	W42b-W44b		A15a
11:18	R60b, R61b		M34a	P51a	W45b-W47b		A16b - A18b
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
	【銀 河】		【太 陽】	【星・惑星】	【飛翔観】	【高赤方】	【突発天体】
13:30	R64a		M35a	P52a	W48a	D18a	A19a
13:42	R65a		M36a	P53a	W49a		A20a
13:54	R66a		M37a	P54a	W50a	D25a	A21a
14:06	R68a		M38a	P55a	W51a		A22a
14:18	R69a		M39a	P56a	W52a		A23a
14:30	R70a		M40a	P57a	W53a		A24a
14:42	R71a			P58a	W54a		A25a
14:54	R73a			P59a			A26a
15:06	R74b						
15:18							

【突発天体・突発現象】

(11)

A02b, A03b, A04b, A09b, A10c,
A11b, A12b, A13c, A16b, A17b,
A18b

【宇宙流体力学】

(22)

B14b, B15b, B16b, B17b, B18b,
B19b, B20c, B21c, B22c, B23c,
B24c, B25c, B26c, B27c, B28c,
B29c, B30c, B31c, B32c, B33c,
B34c, B35c

【公開講座・一般公開】

(15)

C07b, C08b, C09b, C11b, C12b,
C13b, C14b, C15b, C16c, C17c,
C18c, C19c, C20c, C21c, C22c

【天体力学】

(5)

K02b, K03b, K04b, K05c, K06b

【太陽系】

(10)

L01b, L02b, L10b, L11b, L12c,
L15b, L16b, L17b, L18b, L19b

【太陽】

(9)

M07b, M08c, M09b, M10b, M11b,
M19c, M26b, M27b, M28b

【恒星】

(21)

N04b, N05b, N06b, N10c, N15c,
N18b, N19b, N20b, N29b, N30b,
N31b, N41b, N42b, N43b, N46c,
N47b, N48c, N49b, N50b, N51c,
N52c

【星・惑星形成】

(24)

P01b, P02b, P03b, P04b, P05c,
P06b, P07c, P08b, P09c, P10c,
P11b, P12b, P13b, P14b, P15b,
P16b, P17b, P18b, P19b, P20b,
P21b, P22b, P23c, P24c

【星間現象】

(16)

Q06c, Q10b, Q11b, Q12b, Q13b,
Q14b, Q15b, Q16b, Q24c, Q31b,
Q32b, Q33b, Q34b, Q35b, Q36c,
Q37b

【銀河】

(33)

R01b, R21b, R22b, R23b, R24c,
R25c, R26c, R31b, R32b, R33b,
R34b, R35c, R36c, R37c, R38b,
R39b, R40c, R41b, R42b, R43b,
R54b, R55b, R56b, R57b, R58b,
R59b, R60b, R61b, R62c, R63c,
R67c, R72c, R74b

【活動銀河核】

(9)

S08b, S09c, S10b, S11b, S21b,
S22b, S23b, S27b, S28b

【銀河団】

(5)

T12b, T13b, T14b, T15b, T16b

【宇宙論】

(6)

U10b, U11b, U12b, U13b, U14b,
U15c

【地上観測機器】

(39)

V02c, V07c, V12b, V13b, V14b,
V15b, V16c, V20b, V21b, V22b,
V25b, V26b, V27b, V28b, V29b,
V30b, V31b, V32b, V33b, V34c,
V35b, V36b, V37b, V39b, V40b,
V41b, V54b, V55b, V56c, V57b,
V58c, V59c, V60c, V62b, V63b,
V64b, V65b, V66b, V67b

【飛翔体観測機器】

(28)

W06b, W07b, W08b, W09b, W10b,
W11b, W13b, W14c, W15b, W16b,
W17b, W18b, W23b, W24b, W25b,
W26b, W27c, W28b, W29b, W31b,
W32b, W33b, W42b, W43b, W44b,
W45b, W46b, W47b

【天文教育・その他】

(7)

Y03b, Y04b, Y05b, Y06b, Y07b,
Y08b, Y09b

A. 突発天体・突発現象 (G 会場)

10 / 9 (水)		10 / 9 (水)	
09:30	A01a すばる望遠鏡による遠方超新星サーチ 安田直樹 (国立天文台)	10:54	A14a Ikeya-Zhang 彗星における末同定イオン輝線の観測 河北秀世 (県立ぐんま天文台)
09:42	A02b "Hypernova" SN2002ap の早期分光観測 (II) 衣笠健三 (ぐんま天文台)	11:06	A15a HETE-2 衛星による SGR1900+14 の観測 鳥居研一 (理化学研)
09:42	A03b 極超新星 SN2002ap の近赤外測光と SED 西原英治 (県立ぐんま天文台)	11:18	A16b 木曽観測所におけるガンマ線バースト追観測体制 浦田裕次 (理研/東工大理)
09:42	A04b 反復新星 IM Nor の同定と静穏時の変光 山岡 均 (九大理)	11:18	A17b HETE-2 衛星による X 線バーストの観測 高橋大樹 (青学大理工)
09:54	A05a WZ Sge 型矮新星 HV Vir のスーパーハンプの周期変化 石岡涼子 (京大理)	11:18	A18b I 型 X 線バーストにおける rp-過程と p-元素合成 小池 修 (九大理)
10:06	A06a ブラックホール連星系からの可視光短時間変動 植村 誠 (京大理)		
10:18	A07a Wolf-Rayet 星 WR 104 の可視光巨大変光の発見 加藤太一 (京大理)	13:30	A19a HETE-2 衛星による γ 線バースト観測 鈴木素子 (東工大理)
10:30	A08a MOA グループによる重力マイクロレンズ現象の探索 斉藤ゆか (名大 STE 研)	13:42	A20a HETE-2 衛星の観測運用状況 白崎裕治 (国立天文台)
10:42	A09b 矮新星 WZ Sge の 2001 superoutburst 中の劇的な可視スペクトルの変化 野上大作 (京大理)	13:54	A21a GRB970411 の初期閃光検出の試み 藤原英明 (東大教養)
	A10c 非一様ソースモデルにおける超高エネルギー宇宙線の伝搬 吉口寛之 (東大理)	14:06	A22a ガンマ線バーストのブレークエネルギーの分散 浅野勝晃 (阪大理)
10:42	A11b 自己相似的に発展する磁気リコネクションの諸タイプ 新田伸也 (総研大/国立天文台)	14:18	A23a Spectrum for Ultra Fast Self-Compton Cooling 井岡邦仁 (阪大理)
10:42	A12b 流星電波観測国際プロジェクト 小川 宏 (筑波大自然)	14:30	A24a X-ray flashes from Off-axis Gamma-Ray Bursts 山崎 了 (京大理)
	A13c 流星の自動観測・解析システムの開発と 2001 年しし座流星群の観測 廿日出 勇 (宮崎大工)	14:42	A25a CME に見られた log-normal 分布と γ 線バーストの log-normal 分布との比較 青木成一郎 (東大理)
		14:54	A26a バリオン過剰 fireball (不発 GRB) による軽元素・重元素の合成 岩本信之 (国立天文台)

B. 宇宙流体力学 (F会場)

10/7 (月)		10/7 (月)	
10:00	B01a 宇宙物理研究における Computing Initiative (数値天文台) 高部英明 (阪大レーザー研)	15:24	B12a ブラックホール降着流における磁気エネルギー解放 町田真美 (千葉大自然)
10:36	B02a 気候とその変動の数値モデリング 松野太郎 (地球フロンティア研究システム)	15:36	B13a IPS 太陽風観測データを用いた、太陽圏 MHD シミュレーション 林 啓志 (名大 STE 研)
11:12	B03a 輻射流体力学による天体形成シミュレーションと「数値天文台」 梅村雅之 (筑波大計算物理)	15:48	B14b GRAPE-VPP5000 異機種並列天文シミュレータ II. — GRAPE-6 を用いた性能評価とその応用 — 矢作日出樹 (国立天文台)
11:36	B04a 太陽・磁気圏での観測密着型数値シミュレーション研究の現状と展望 星野真弘 (東大理)	15:48	B15b 入れ子状格子を用いた自己重力磁気流体の解法 松本倫明 (法政大人間環境)
.....			
14:00	B05a HLL 法と CT 法を用いた MHD スキーム 廣瀬重信 (東京理科大)	15:48	B16b 近代的 WKB 法に基づく部分電離原子の超高速計算 杉山慎也 (阪大レーザー研)
14:12	B06a 粒子法的輻射流体力学計算法 犬塚修一郎 (京大理)	16:00	B17b 回転星の崩壊によるガンマ線バーストの一般相対論的 MHD シミュレーション 水野陽介 (京大理)
14:24	B07a Adaptive Mesh Refinement ライブラリの開発 山田良透 (京大理)	16:00	B18b 降着円盤モデルにおける粘性項 只隈 豊 (熊本大理)
14:36	B08a 原始銀河における initial starburst の影響 和田桂一 (国立天文台)	16:00	B19b パーカー不安定性に伴う磁気リコネクションによる銀河ハロー X 線ガスの加熱 田沼俊一 (京大理)
14:48	B09a 近接連星系における降着円盤の輻射輸送を伴った 3 次元数値流体シミュレーション 佐藤潤一 (東北大工)		B20c Voronoi Free Lagrange 法の宇宙流体力学への応用 蜂巣 泉 (東大総合文化)
15:00	B10a 星間磁気乱流の起源とその持続メカニズム 小山 洋 (国立天文台)		B21c 降着円盤の観測密着型 3 次元 MHD シミュレーション 松元亮治 (千葉大理)
15:12	B11a 惑星状星雲の MHD 解析 鷺見治一 (湘南工大)		B22c II 型超新星爆発およびそれに伴う動的現象の流体力学シミュレーション 鈴木知治 (東大理)

B23c 工学分野シミュレーション技術の宇宙 輻射流体への応用 佐藤潤一（東北大工） B24c 太陽・惑星間・地球圏活動現象の統合 磁気流体シミュレーション計画 横山央明（国立天文台） B25c 太陽風磁気圏相互作用の観測密着型 MHD シミュレーション 荻野竜樹（名大STE研） B26c プラズマ電磁放射の粒子・ブラゾフ統 合シミュレーション 柴田一成（京大理） B27c Ia型超新星爆発の乱流核燃焼の物理 小林幸司（阪大理） B28c 長時間計算による MHD ジェットの各 物理量の磁場依存性 佐藤和久（京大理） B29c 矮小銀河形成における紫外背景輻射場 の役割 須佐 元（立教大理） B30c GRAPE クラスターを利用する並列 SPH コード 中里直人（東大理） B31c PC Cluster による太陽浮上磁場の三次 元 MHD シミュレーション 野澤 恵（茨城大理） B32c CIP 法による MHD シミュレーション への適用（1） 高橋邦生（茨城大理） B33c CIP 法による MHD シミュレーション への適用（2） 堀部裕樹（茨城大理） B34c Slow Magnetosonic Shock in Kerr Geometry 高橋真聡（愛知教育大）	B35c 宇宙シミュレーション・ネットラボラ トリーシステムの開発（7）：統合ソ フトウェア CANS 福田尚也（千葉大理）
--	--

C. 公開講座・一般公開 (F 会場)

10 / 8 (火)		10 / 8 (火)	
09 : 30	C01a 「公開講座・一般公開」に関するアンケート調査 沢 武文 (愛知教育大)	11 : 30	C12b 愛知教育大学天文台一般公開2 一般公開の実際 後藤純也 (愛知教育大)
09 : 42	C02a 11年目を迎えた天文学公開セミナー 福井康雄 (名大理)	11 : 30	C13b 大阪府立大学 総合科学部における天文普及活動 米倉覚則 (大阪府大総合科学)
09 : 54	C03a 木曽観測所が行なうパブリックアウトリーチ 中田好一 (東大理)	11 : 42	C14b 「小さな天文学者の会」の活動と研究機関の社会貢献 柴田晋平 (山形大理)
10 : 06	C04a 京都大学理学研究科附属天文台の天文教育・啓蒙事業の紹介 上野 悟 (京大理)	11 : 42	C15b 科学館側から見た公開セミナー「天文学の最前線」 野田 学 (名古屋科学館)
10 : 18	質疑とディスカッション	11 : 54	質疑とディスカッション
10 : 30	C05a 国立天文台における公開講座・一般公開事業の概要 渡部潤一 (国立天文台)	C16c 木曽観測所が行なうパブリックアウトリーチⅠ- 銀河学校 樽沢賢一 (東大理)	
10 : 42	C06a 国立天文台ハワイ観測所における広報普及教育活動 布施哲治 (国立天文台ハワイ)	C17c 木曽観測所が行うパブリックアウトリーチⅡ- 理科特別授業 西浦慎悟 (東大理)	
10 : 54	C07b 国立天文台三鷹キャンパス常時公開の成果と課題 縣 秀彦 (国立天文台)	C18c 木曽観測所が行うパブリックアウトリーチⅢ- 特別公開と観望会 征矢野隆夫 (東大理)	
10 : 54	C08b 国立天文台三鷹キャンパス定例天体観望会 内藤誠一郎 (東大理)	C19c 国立天文台「君が天文学者になる4日間」 室井恭子 (国立天文台)	
10 : 54	C09b 国立天文台・野辺山における常時及び特別公開の現状 御子柴 廣 (国立天文台野辺山)	C20c 千葉大学サイエンスプロムナードと3Dシアターによる科学普及活動 松元亮治 (千葉大理)	
11 : 06	質疑とディスカッション	C21c 和歌山大学教育学部天文台の公開 富田晃彦 (和歌山大教育)	
11 : 18	C10a 教育系大学の天文観測施設の利用と公開ー福岡教育大学の場合ー 平井正則 (福岡教育大地球)	C22c ぐんま天文台の教育普及活動 濤崎智佳 (ぐんま天文台)	
11 : 30	C11b 愛知教育大学天文台一般公開1 大学における一般公開の意義 安藤享平 (郡山市ふれあい科学館)	12 : 06	ディスカッション
		12 : 18	ディスカッションとまとめ

D. 高赤方偏移天体の年齢測定 (F 会場)

10 / 8 (火)		10 / 9 (水)	
14 : 00	D01a 超新星による元素合成と天体の化学組成比 野本憲一 (東大理)	10 : 24	D13a 高赤方偏移 DLA の Fe/Mg 吸収線比からの年齢測定 小林尚人 (国立天文台ハワイ)
14 : 18	D02a Ia 型超新星の金属量依存性と親星の年齢 蜂巢 泉 (東大総合文化)	10 : 42	D14a 化学進化に基づいた DLA の年齢 辻本拓司 (国立天文台)
14 : 30	D03a 宇宙化学進化に Ia 型超新星が果たす役割 小林千晶 (MPA)	10 : 54	D15a CLOUDY による Fe/Mg 輝線比と組成比の変換則 川良公明 (東大理)
14 : 48	D04a 高赤方偏移銀河 SED は年齢測定に有効か 児玉忠恭 (国立天文台)	11 : 12	D16a BLR に対する変換則のパラメータ依存性 続 唯美彦 (東大理)
15 : 00	D05a 高分散分光観測による金属欠乏星の化学組成からの年齢測定 青木和光 (国立天文台)	11 : 24	D17a Narrow-Line Regions in NLS1s and Double-Peaked Radio Galaxies 長尾 透 (東大理)
15 : 18	D06a 金属欠乏星の重元素組成パターンからの年齢測定 茂山俊和 (東大理)		
15 : 30	D07a 金属欠乏星の軽元素組成パターンからの年齢測定 鈴木 建 (国立天文台/東大理)	13 : 30	D18a 高赤方偏移 QSO の Fe/Mg 輝線比からの年齢測定 岩室史英 (京大理)
15 : 42	D08a X 線観測による化学組成からの年齢測定 大橋隆哉 (都立大理)	13 : 48	D19a 化学進化に基づいた QSO の母銀河の年齢 吉井 譲 (東大理)
.....		14 : 00	D20a BH 質量から見た QSO の年齢 木村仁彦 (京大理)
10 / 9 (水)		14 : 12	D21a 宇宙パラメタの宇宙論的測定と宇宙年齢 横山順一 (阪大理)
09 : 30	D09a X 線観測による銀河団の化学組成と年齢測定 深沢泰司 (広島大理)	14 : 30	D22a 高赤方偏移超新星による宇宙年齢測定 土居 守 (東大理)
09 : 42	D10a X 線観測による楕円銀河の化学組成と年齢決定 松下恭子 (MPE)	14 : 42	D23a 銀河の形成/進化と宇宙年齢測定 長島雅裕 (国立天文台)
09 : 54	D11a 電波観測による高赤方偏移天体の年齢測定 河野孝太郎 (東大理)	14 : 54	D24a 大規模構造からの宇宙年齢測定 矢作日出樹 (国立天文台)
10 : 12	D12a SCUBA 天体の近赤外スペクトルと年齢推定 本原顕太郎 (東大理)	15 : 06	D25a 銀河観測の展望 吉井 譲 (東大理)

K. 天体力学 (E 会場)

10/7 (月)	10/7 (月)
10:00 K01a Thle 群小惑星の軌道安定性について 木下 宙 (国立天文台)	10:12 K04b 月周回衛星の軌道解析からの相対論的 効果の検証 荒木田英禎 (国立天文台)
10:12 K02b 非線型調和解析による黄道面と不変面 の決定 原田 渉 (東大理)	K05c カウエル法の軌道積分誤差の推定公式 福島登志夫 (国立天文台)
10:12 K03b ケプラー運動に対する線形多段法の安 定領域 II 山本一登 (総研大)	10:24 K06b 木星と平均運動共鳴にある、またはそ の近傍の軌道 中井 宏 (国立天文台)

L. 太陽系 (E 会場)

10/7 (月)	10/7 (月)
10:24 L01b Planet-C を用いた太陽系小天体・惑星 間ダストの光学観測 石黒正晃 (宇宙研)	12:00 L11b ロボット望遠鏡等によるしし座流星群 の輻射点領域の観測 2 小浜光洋 (理化学研)
10:24 L02b Very Large Array による水メーザー周 波数帯における SETI 観測 白井俊道 (Goldman Sachs (Japan) Ltd.)	L12c しし座流星群流星痕同時観測キャン ペーン 2002 観測計画 戸田雅之 (日本流星研究会)
10:36 L03a MUSES-C 探査小惑星 (25143) 1998 SF36 の軌道進化 (II) 吉川 真 (宇宙研)	14:00 L13a 鉛直 1 次元放射対流平衡モデルによる 火星大気鉛直分布の数値実験 中串孝志 (京大理)
10:48 L04a すばる望遠鏡による太陽系外縁部探査 木下大輔 (総研大)	14:12 L14a 彗星ダストトレイルの可視測光観測 石黒正晃 (宇宙研)
11:00 L05a SUBARU/IRCS を用いた D 型小惑星 773 Irmtraud の近赤外分光観測 菅野 愛 (東大理)	14:24 L15b ボレリー彗星 (19P/Borrelly) の不思 議な尾と微細構造 鈴木淳嗣 (東京理科大理)
11:12 L06a 連星カイパーベルト天体 1998 WW31 の近赤外カラーの差 高遠徳尚 (国立天文台)	14:24 L16b C/2002 C1 (Ikeya-Zhang) 彗星にお ける Na 輝線の日心距離依存性 古荘玲子 (国立天文台)
11:24 L07a 原始惑星による微惑星の集積と散乱 樋口有理可 (神戸大自然科学)	14:24 L17b WIZARD を用いた黄道光の測光観測 白井文彦 (東大総合文化)
11:36 L08a 流星電波観測による 2001 年しし座流 星群のピーク構造 小川 宏 (筑波大自然科学)	14:36 L18b ベネラ 9 号近接飛行時における金星大 気煙霧粒子の分布 佐藤靖彦 (東京理科大理)
11:48 L09a 紫外域流星スペクトルからの OH 分子 の初めての検出 阿部新助 (宇宙研)	14:36 L19b 火星極上空に観測された炭酸ガス凝結 雲の性質 鳴海泰典 (九州東海大工)
12:00 L10b 2001 年しし座流星群における暗い流 星分布 大西浩次 (長野高専)	

M. 太陽 (C 会場)

10 / 8 (火)		10 / 8 (火)	
10 : 30	M01a SOHO/MDI 太陽振動高周波数データの自己相関関数解析 関井 隆 (国立天文台)	14 : 00	M12a Loop type CME とその周辺構造 鈴木 勲 (東京理科大学)
10 : 42	M02a Properties of H α surges and Optical/EUV brightenings in NOAA 8227 Brooks, D. H. (京大理)	14 : 12	M13a ループ型 CME の 3 次元シミュレーションモデルによる解明 III 桑原譲二 (東京理科大学)
10 : 54	M03a OV 輝線強度比による電子密度診断へのカスケードの影響 村上 泉 (核融合科学研)	14 : 24	M14a 1992.1.24 の X 線質量放出を伴う巨大カスプ現象の MHD モデル 塩田大幸 (京大理)
11 : 06	M04a 活動領域での 'writhe' と 'twist' について 萩野正興 (明星大情報)	14 : 36	M15a ASP を用いた磁気ヘリシティの計算とコロナ活動への影響について 阪本康史 (東大理)
11 : 18	M05a コロナループの増光とその足元の磁場との関係 勝川行雄 (東大理)	14 : 48	M16a フレアの磁気ヘリシティ対消滅モデル I—理論とシミュレーション 草野完也 (広島大先端物質科学)
11 : 30	M06a 数時間継続する百万度のコロナ構造と、その足元の光球面磁場は 吉村圭司 (宇宙研)	15 : 00	M17a フレアの磁気ヘリシティ対消滅モデル II—NOAA 8100 による観測的検証 横山央明 (国立天文台)
11 : 42	M07b 浮上磁場領域 NOAA8218 の対流構造 高津裕通 (京大花山天文台)	15 : 12	M18a フレアの磁気ヘリシティ対消滅モデル III—ヘリシティ入射の統計的解析 真栄城朝弘 (広島大先端物質科学)
	M08c シア・アルフヴェン乱流のダイアグラム表現 中山薫二 (龍谷大法)		M19c 光球磁気リコネクションにおける対流の影響について (その 2) 竹内彰継 (米子高専)
11 : 42	M09b ウェーブレット変換による太陽周期活動の解析 宮澤綾子 (東海大工)	15 : 24	M20a リコネクションジェットの振動に伴う多重ファストショックの生成 田沼俊一 (京大理)
11 : 42	M10b 「あすか」GIS 地球アルベドデータから得られた太陽 X 線の平均スペクトルと経年変化 伊藤真之 (神戸大発達)	15 : 36	M21a リコネクションインフローの分光観測による検出の可能性 磯部洋明 (京大理)
11 : 54	M11b JavaScript を利用した太陽画像公開システム 飯塚康至 (国立天文台)	15 : 48	M22a 浮上磁場による磁気再結合に基づく彩層蒸発ジェットモデル 宮腰剛広 (総研大)

10/9 (水)		10/9 (水)	
09:30	M23a 磁気浮上領域での太陽ジェットとエネルギー解放 浅井 歩 (京大理)	13:30	M35a 2001年4月10日に起きたX2クラスフレアの硬X線及びマイクロ波放射構造 矢治健太郎 (かわべ天文公園)
09:42	M24a How Can Solar-B/EIS Detect the Reconnection Ejecta? Chen, P. F. (京大理)	13:42	M36a マイクロ波で見える非熱的フレアループと硬X線源の関係 下条圭美 (国立天文台野辺山)
09:54	M25a 太陽風はなぜ吹くか II 加熱膨張と磁気圧加速 平山 淳 (明星大情報)	13:54	M37a 大型太陽フレアの温度 柴崎清登 (国立天文台野辺山)
10:06	M26b コロナ内で励起された音波によるコロナ加熱及び低速太陽風 鈴木 建 (国立天文台/東大理)	14:06	M38a アークードの温度/EMの解析とループ長 Scaling Law の検証 山本哲也 (東大理)
10:06	M27b 太陽プラズマ噴出に寄与する力 森本太郎 (京大理)	14:18	M39a HESSI衛星によるフレア観測からのブレインパルス相の解析 宮腰 純 (東京理科大学)
10:06	M28b 惑星間空間擾乱に対するフィラメント消失時の磁場構造の効果 浅野芳洋 (京大附属天文台)	14:30	M40a Dark Filament 及びその周辺磁場の変化の観測 (III) ~ Dynamic event への変化~ 吉楽高夫 (東京理科大学)
10:18	M29a SOLAR NEUTRON EVENTS IN ASSOCIATION WITH LARGE SOLAR FLARES ON NOVEMBER 24, 2000, AND AUGUST 25, 2001 渡邊恭子 (名大STE研)		
10:30	M30a Modeling of an energetic particle event with an experimental diffusive coefficient 田 光江 (通信総研)		
10:42	M31a 硬X線フットポイントソースの動きと粒子加速 増田 智 (名大STE研)		
10:54	M32a Rotational Sunspot Motions in Flare-productive Active Regions 石井貴子 (京大理)		
11:06	M33a 京都大学飛騨天文台で観測された Moreton wave の統計的解析 成影典之 (京大理)		
11:18	M34a 気球による太陽フレアの硬X線スペクトル観測 小林 研 (東大理)		

N. 恒星 (G 会場)

10 / 7 (月)		10 / 7 (月)	
10 : 00	N01a X-Ray and Gamma-Ray Emission from the PSR 1259-63 / Be Star System 牧 秀樹 (立教大理)	11 : 36	N12a Chandra 衛星による近傍渦巻銀河中の大光度 X 線源の観測 杉保昌彦 (東大理)
10 : 12	N02a X 線パルサー GX301-2 における蛍光鉄輝線のコンプトン散乱ハンプ 長瀬文昭 (宇宙研)	11 : 48	N13a Chandra HETGS による SS 433 の観測 II 並木雅章 (理研)
10 : 24	N03a RXTE 衛星を用いた X 線連星パルサー・Cen X-3 の X 線観測 幸村孝由 (立教大理)	14 : 00	N14a 自転する中性子星と降着円盤の磁氣的相互作用の数値実験 加藤成晃 (千葉大自然)
10 : 36	N04b ASCA と RXTE 衛星による、X 線新星 XTE J1118+480 の観測 山岡和貴 (理化学研)		N15c 数値シミュレーションによる降着円盤内 MHD 乱流モデルの検証 中尾泰士 (奈良産業大経営)
10 : 36	N05b パルサー磁気圏 Outer-Gap からの γ 線放射 高田順平 (山形大理工)	14 : 12	N16a 強磁場激変星の降着円筒における共鳴線の異方的伝搬 寺田幸功 (理化学研)
10 : 36	N06b 原子データベースとスペクトルラインコードのコンパクト星の X 線分光計測への応用 佐々木 明 (日本原子力研関西研)	14 : 24	N17a 超臨界降着状態の相対論的スリムディスクからの輻射スペクトル 志村俊也 (横浜国立大国際社会科学)
10 : 48	N07a TeV Neutrinos from Companion Stars of Rapid-Rotating Neutron Stars 長滝重博 (国立天文台)	14 : 36	N18b 標準円盤から移流優勢円盤への遷移面の 2 次元幾何 中村賢仁 (松江高専)
11 : 00	N08a 微分回転星における f-mode セキュラー不安定 鴈野重之 (東大総合文化)	14 : 36	N19b 降着円盤の内縁は 3 倍の Schwarzschild 半径として良いか? 渡会兼也 (京大理)
11 : 12	N09a r モード振動における磁場の影響 金野幸吉 (京大基研)	14 : 36	N20b 超新星ニュートリノスペクトルに対する衝撃波を考慮したニュートリノ振動の影響について 木暮大宣 (東理大理工)
	N10c 中性子星における Non-Standard Cooling の可能性 野田常雄 (九大理)	14 : 48	N21a 新星のピーク光度時におけるジェット放出について 加藤万里子 (慶応大)
11 : 24	N11a 近傍渦巻銀河 IC342 中の強 X 線源におけるスペクトル状態遷移の新解釈 久保田あや (宇宙研)	15 : 00	N22a 特異な Ia 型超新星 2000cx の sub-Chandrasekhar mass model 上西達大 (東大理)

10 / 7 (月)		10 / 8 (火)	
15 : 12	N23a 高密度星内部における電子捕獲に対するクーロン遮蔽効果 富沢奈美 (上智大理工)	10 : 18	N33a すばる HDS による r 過程の起源の探索 石丸友里 (お茶大理)
15 : 24	N24a ONeMg コアの重力崩壊による超新星爆発の数値流体シミュレーション 玉村雅也 (上智大理工)	10 : 30	N34a 金属欠乏ハロー星におけるアルファ元素の振る舞い : volatile elements vs. refractory elements 比田井昌英 (東海大総合教育)
15 : 36	N25a 超新星背景ニュートリノの検出可能性 安藤真一郎 (東大理)	10 : 42	N35a 金属欠乏星における Zn 組成 本田敏志 (国立天文台)
15 : 48	N26a 宇宙初期の超新星爆発時におけるダスト形成 III 野沢貴也 (北大理)	10 : 54	N36a Ursa Minor 矮小銀河の赤色巨星の高分散分光観測 定金晃三 (大阪教育大)
.....		11 : 06	N37a 種族 III、低質量星の進化 須田拓馬 (北大理)
10 / 8 (火)		11 : 18	N38a B 型輝線星 π Aqr の星周ガスの盛衰 岩松英俊 (京大理)
09 : 30	N27a ONeMg コア重力崩壊型超新星における r 過程元素合成 和南城伸也 (上智大理工)	11 : 30	N39a O 型星の 0.9 - 2.4 μ m スペクトルアトラス I. 連続スペクトル 田中培生 (東大理)
09 : 42	N28a 超新星爆発における r - 過程元素合成—中性子星の質量と組成比の普遍性— 寺澤真理子 (国立天文台)	11 : 42	N40a O 型星の 0.9 - 2.4 μ m スペクトルアトラス II. 線スペクトル 西巻祐一郎 (東大理)
09 : 54	N29b Adaptive Mesh Refinement 法を用いた超新星外層で起こる Rayleigh-Taylor 不安定性成長の 3 次元シミュレーション III 野呂文人 (千葉大自然)	11 : 54	N41b O 型星の 0.9 - 2.4 μ m スペクトルアトラス III. データおよび装置概要 山室智康 ((株) ジェネシア)
09 : 54	N30b Spatio-Kinematic Study on the Planetary Nebula, IC 2149 大塚雅昭 (東北大理)	11 : 54	N42b CP2 星 HD 221568 の分光解析 (II) 西村昌能 (京都府立洛東高校)
09 : 54	N31b おとめ座銀河団中の銀河に属さない惑星状星雲の探索 岡村定矩 (東大理)	11 : 54	N43b HIPPARCOS SPBs の高分散分光観測 増田盛治 (国立天文台岡山)
10 : 06	N32a 近赤外撮像観測による酸素過剰型原始惑星状星雲の探索 出口修至 (国立天文台野辺山)		

10 / 8 (火)		10 / 8 (火)	
14 : 00	N44a 最近の活動期における共生星 Z And の分光解析 田村真一 (東北大理)	15 : 00	N55a 水素終端したダイヤモンドグレインの赤外スペクトル 木村誠二 (電通大)
14 : 12	N45a α Sgr の等級変動について 藤原智子 (SYRTE Observatoire de Paris / 京産大理)	15 : 12	N56a 21 ミクロンフィーチャの空間分布 宮田隆志 (東大理)
	N46c 近接連星おうし座 G R 星の光度曲線変化 山崎篤磨 (防衛大地球海洋)	15 : 24	N57a ISO による赤色巨星のスペクトル II. 晩期 M 型巨星における光球・分子光球構造 辻 隆 (東大理)
14 : 24	N47b アルゴル型連星系 U CrB の短周期振動の検出 鳴沢真也 (西はりま天文台)	15 : 36	N58a 実験によるシリケートダスト生成反応の解明 和田節子 (電気通信大)
	N48c アルゴル型連星系 RZ Cas の高時間分解能 H α 分光観測 鳴沢真也 (西はりま天文台)	15 : 48	N59a アンテナ高速スイッチング VLBI による S Per 水メーザ・スポット固有運動のモニタ観測 朝木義晴 (宇宙研)
14 : 24	N49b 炭素星の星周 C ₂ Swan(0,0) バンド吸収線の解析 泉浦秀行 (国立天文台岡山)		
14 : 24	N50b IRTS/NIRS 点源天体カタログの公開 田中昌宏 (宇宙研)		
	N51c IRSF/SIRIUS によるマゼラン雲球状星団変光星探査 田辺俊彦 (東大理)		
	N52c 岡山天体物理観測所写真乾板アーカイブ 柳澤顕史 (国立天文台岡山)		
14 : 36	N53a 太陽近傍における赤外ミラ型変光星の周期分布 中田好一 (東大理)		
14 : 48	N54a ミラにおける広がった分子層の直接検出: すばる補償光学系を使った近赤外高空間分解能分光撮像観測 高見英樹 (国立天文台)		

P. 星・惑星形成 (D 会場)

10 / 8 (火)		10 / 8 (火)	
09:30	P01b 第一世代星形成過程からの分子輝線 水澤広美 (新潟大自然)	09:54	P13b Herbig Ae/Be 型星の K バンド分光観測 石井未来 (国立天文台)
09:30	P02b 分子雲圧縮層分裂片の質量分布 梅川通久 (千葉大普遍教育)	10:06	P14b H II 領域 S140 の近赤外撮像観測 田口優介 (神戸大自然)
09:30	P03b 非軸対称揺らぎを入れた星間分子雲の 成長過程 町田正博 (北大理 / 国立天文台)	10:06	P15b IC1848 における褐色矮星・超低質量 天体の形成 松柳育子 (神戸大自然)
09:42	P04b 原始惑星系円盤からのジェット形成の MHD 数値実験 桑原匠史 (NCU)	10:06	P16b 星形成領域ケフェウス A における近赤 外測光観測 藤田健太 (神戸大自然)
	P05c 原始星円盤における磁気回転不安定性 の大局的 MHD 数値実験 町田真美 (千葉大自然)	10:18	P17b L1457 に付随する原始惑星系円盤の検 出 伊藤洋一 (神戸大自然)
09:42	P06b 連星系とそれを取り巻くガス円盤の潮 汐相互作用 II 今枝佑輔 (国立天文台)	10:18	P18b Discovery of the Precessing Jet in Barnard 1 仲野 誠 (大分大教育)
	P07c 原始惑星とガス円盤との重力相互作用 酒井 圭 (東工大理)	10:18	P19b 原始星 Haro6-5B の高感度 $^{13}\text{CO}(J=1-0)$ 分子輝線観測 横川創造 (総研大数物)
09:42	P08b 原始惑星系円盤内衝撃波によるコンド リュール形成: 蒸発によりサイズ分布 の下限が決まる可能性について 中本泰史 (筑波大計算物理)	10:30	P20b Orion-KL 領域の水メーザーバースト 望月奈々子 (宇宙研)
	P09c The Search for Extrasolar Planets around Intermediate-Mass Stars: Precise Radial Velocity Measurements of Late-G Giants 佐藤文衛 (東大理)	10:30	P21b 「あすか」衛星による大質量星形成領 域 Cepheus A と S140 の観測 江副祐一郎 (東大理)
	P10c 反射星雲 NGC2261 の光散乱モデル 松村雅文 (香川大教育)	10:30	P22b X 線観測によるへびつかい座分子雲内 の新前主系列星候補探索 今西健介 (京大理)
09:54	P11b L1457 における新たな T Tauri 型星の 発見 小倉勝男 (国学院大)		P23c チャンドラ衛星による星形成領域 S106 の高空間分解能 X 線観測 坪井陽子 (中央大理工)
09:54	P12b オリオン B における高密度分子ガスの H^{13}CO^+ 観測 青山紘子 (名大理)		P24c オリオン分子雲 3 中の X 線放射を伴う 原始星の cm 波高分解撮像観測 辻本匡弘 (京大理)

10 / 8 (火)		10 / 8 (火)	
10 : 42	P25a SED から推定される Class 0 天体と Class I 天体の物理状態 中里 剛 (筑波大物理)	14 : 48	P36a オリオンシリエットディスク 218-354 の中間赤外線観測 酒向重行 (東大理)
10 : 54	P26a モンテカルロ法輻射輸送計算による動的収縮分子雲コアの観測的可視化 富阪幸治 (国立天文台)	15 : 00	P37a 野辺山ミリ波干渉計による原始星エンベロープのサーベイ観測 平野尚美 (ASIAA)
11 : 06	P27a ポリトロープガス球の重力収縮 釣部 通 (大阪大理)	15 : 12	P38a G24.78+0.08: A Cluster of High-Mass (Proto) Stars 古屋 玲 (INAF, Oss. di Arcetri)
11 : 18	P28a 分子雲コアの重力収縮と分裂 一分裂過程の分類とその特徴 松本倫明 (法政大人間環境)	15 : 24	P39a NMA による W3 IRS5 の高密度分子雲コアの詳細観測 齋藤弘雄 (国立天文台野辺山)
11 : 30	P29a ガス降着による連星の成長 越智康浩 (名大理)	15 : 36	P40a りゅうこつ座クラスター形成領域 IRAS10365-5803 の近赤外線、C ¹⁸ O 分子輝線観測 相馬照仁 (大阪府大総合科学)
11 : 42	P30a cloud core の収縮過程 - ray tracing 法による輻射輸送を含むシミュレーション 成田真二 (同志社大理工研)	15 : 48	P41a Compact Clusters in Cep OB 3 - Molecular Cloud Complex, Unwinding after Birth? 林 左絵子 (国立天文台ハワイ)
11 : 54	P31a 大きい降着率のもとでの原始星の進化 大向一行 (国立天文台)		
.....			
14 : 00	P32a Subaru(HDS)による L1551 ジェットの速度場の観測とジェットの構造 西川貴行 (東京理大理)	10 / 9 (水)	
14 : 12	P33a IRTF-CSHELL による Orion-KL-IRc2 の速度分解分光観測 森野潤一 (国立天文台)	09 : 30	P42a Infrared spectra of TiC, SiC and (Si, Ti)-C grains 木村勇氣 (立命館大理工)
14 : 24	P34a Orion-KL 領域における HCO ⁺ J=1-0 輝線によるアウトフローの高分解能観測 齋藤智樹 (東大理)	09 : 42	P43a 大マゼラン雲近赤外広域サーベイによる前主系列星候補の検出 加藤大輔 (名大理)
14 : 36	P35a オリオン・プロブリッドの中間赤外線撮像観測 山下卓也 (国立天文台ハワイ)	09 : 54	P44a SIRIUS による星形成領域 S235A/B の観測 馬場大介 (名大理)
		10 : 06	P45a SIRIUS と IRSF1.4m 望遠鏡によるへびつかい座分子雲の近赤外測光観測 直井隆浩 (東大理)

10/9 (水)		10/9 (水)	
10:18	P46a	SIRIUS による近傍分子雲の赤外線サーベイ: YSO の光度関数 田村元秀 (国立天文台)	14:30 P57a 系外巨大惑星の摂動による地球型惑星の自転軸の傾きの変動 跡部恵子 (東工大理)
10:30	P47a	ブライトリム分子雲 BRC38 (IC1396N) の近赤外線およびミリ波観測 杉谷光司 (名古屋市大)	14:42 P58a カイパーベルト天体の軌道分布に残る恒星遭遇の跡 小林 浩 (東工大理工)
10:42	P48a	野辺山ミリ波干渉計による M16 の観測: C ¹⁸ O 分子雲コアの詳細観測 福田尚也 (千葉大理)	14:54 P59a N 体数値計算による天王星楕円リングの形成機構の解明 台坂 博 (東大理)
10:54	P49a	チャンドラ衛星による褐色矮星 TWA 5B の高空間分解能 X 線観測 坪井陽子 (中央大理工)	
11:06	P50a	Chandra 衛星による NGC2068 の観測 柳田健之 (東大理)	
11:18	P51a	Chandra 衛星による星生成領域 Monoceros R2 分子雲の X 線観測 中嶋 大 (京大理)	
.....			
13:30	P52a	原始惑星系円盤のダスト層におけるシア不安定と、潮汐力によるその安定化作用 石津尚喜 (九大理)	
13:42	P53a	原始惑星系円盤内のダスト沈殿、合体成長と SED の時間進化 姫野洋平 (東工大理)	
13:54	P54a	原始惑星系円盤内で発生した衝撃波によるガスの化学組成の変化について 三浦 均 (筑波大数物)	
14:06	P55a	惑星系の多様性の起源 — 原始惑星系円盤の質量分布と惑星系の構造 — 小久保英一郎 (国立天文台)	
14:18	P56a	地球型惑星形成における原始惑星系円盤及び巨大ガス惑星の重力の影響 小南淳子 (東工大地球惑星)	

Q. 星間現象 (C 会場)

10 / 7 (月)	10 / 7 (月)
10 : 00 Q01a 星間 100 μm バンドの検出・星間カーボンオニオンダスト? 尾中 敬 (東大理)	11 : 36 Q12b First detection of interstellar c-C ₂ H ₄ S (Ethylene Sulfide) toward SgrB2(N) 池田美穂 (国立天文台)
10 : 12 Q02a 星間空間における 65 μm feature の検出ー星間結晶質シリケート?ー 岡田陽子 (東大理)	11 : 48 Q13b 小分子雲のサイズー線幅関係 杉本正宏 (東大理)
10 : 24 Q03a Spatially Resolved 3 μm Spectroscopy of IRAS 22272+5435: Thermal Process on Hydrocarbon Dust 後藤美和 (国立天文台ハワイ)	11 : 48 Q14b BEARS による銀河中心 Sgr A 領域における高密度分子雲の観測 宮崎敦史 (国立天文台野辺山)
10 : 36 Q04a Irradiation effects for circumstellar dust candidates 茅原弘毅 (阪大理/京都薬大)	11 : 48 Q15b 「なんてん」による銀河系中心領域の分子雲観測 2 梅田裕介 (名大理)
10 : 48 Q05a IRTS/FIRP サブミリ波拡散放射光観測データの公開 平尾孝憲 (名大理)	12 : 00 Q16b 銀河系外縁部(the Galactic Warp)の ¹² CO 探査 中川真規 (名大理)
Q06c すばる HDS(高分散分光器)による星間物質中の ¹² C ¹⁴ N/ ¹³ C ¹⁴ N、 ¹² C ¹⁴ N/ ¹² C ¹⁵ N 比の観測 川野元 聡 (国立天文台)	14 : 00 Q17a NH ₃ が検出されない暗黒星雲コアにおける炭素鎖分子のサーベイ観測 廣田朋也 (鹿児島大理)
11 : 00 Q07a 原始分子雲コアにおける乱流の起源と散逸に関する考察 釜谷秀幸 (京大理)	14 : 12 Q18a 銀河系内域分子雲クランプと太陽近傍分子雲クランプの比較 杉本正宏 (東大理)
11 : 12 Q08a Dust photoelectric heating in Ly α clouds 井上昭雄 (京大理)	14 : 24 Q19a BEARS Star-Formation Project 7: ρ Oph 領域における H ¹³ CO ⁺ (J=1-0)観測 梅本智文 (国立天文台)
11 : 24 Q09a BCD 銀河における水素分子スーパーシェルの観測可能性 南野公彦 (京大理)	14 : 36 Q20a BEARS Star-Formation Project 8: 低質量星の outflow による分子雲への影響 砂田和良 (国立天文台野辺山)
11 : 36 Q10b IRSF/SIRIUS によるグロビュールの近赤外ディープサーベイ 神鳥 亮 (総研大)	14 : 48 Q21a BEARS Star-Formation Project 9: MBM 26 の CO 観測 2 河村晶子 (国立天文台野辺山)
11 : 36 Q11b 大質量星形成領域周辺部における複数の水素分子輝線空間分布 森 淳 (国立天文台岡山)	15 : 00 Q22a 「なんてん」による B72 暗黒星雲 (Snake nebula) の CO 観測 大西利和 (名大理)

10/7 (月)		10/8 (火)	
15:12	Q23a 「なんてん」による高銀緯アーク構造のCO輝線観測 山本宏昭 (名大理)	10:18	Q34b Chandra による SN1006 衝撃波面の詳細観測 馬場 彩 (京大理)
	Q24c 「なんてん」による第3象限のCO観測 伊藤雄樹 (名大理)	10:18	Q35b 衝撃波における一次フェルミ加速の確率論に基づいた定式化と時間発展解 加藤恒彦 (国立天文台)
15:24	Q25a XMM-Newton による Vela Shrapnel-E の観測 宮田恵美 (阪大理)		Q36c 天体衝撃波遷移層中に見られる電子ホールの安定性と電子加熱量 島田延枝 (通信総研)
15:36	Q26a X線天文衛星「Chandra」を用いた Cassiopeia A の解析 川上申之介 (阪大理)	10:18	Q37b 大局的3次元MHDシミュレーションに基づく銀河ダイナモ機構の考察 錦織弘充 (千葉大自然)
15:48	Q27a X線観測を用いた超新星残骸の新しい距離推定方法の確立 江ノ口英之 (阪大理)		
10/8 (火)			
09:30	Q28a かに星雲の3次元モデル—Chandra 観測の意味するもの I 柴田晋平 (山形大理)		
09:42	Q29a 電子・陽電子プラズマシート中での高エネルギー粒子加速過程 銭谷誠司 (東大理)		
09:54	Q30a 磁気回転不安定性によるダイナモ効果 中原淳二 (広島大理)		
10:06	Q31b ASCA による超新星残骸 G330.2+1.0 の観測 (新たな非熱的 SNR) 山口康広 (山形大理)		
10:06	Q32b Chandra による銀河中心 Radio Arc 領域の巨大分子雲の観測 村上弘志 (宇宙研)		
10:06	Q33b Chandra による銀河中心領域の超新星残骸探査 千田篤史 (京大理)		

R. 銀河 (A 会場)

10 / 7 (月)		10 / 8 (火)	
14 : 24	R01b "化石銀河群" のダークマターハロー構造 吉岡 努 (名大理)	10 : 18	R13a MAGNUM project (5) 観測スケジュール リング 青木 勉 (東大理)
14 : 36	R02a 数値銀河カタログ (ν GC) の構築 I. モ デル及び近傍銀河の統計的性質 長島雅裕 (国立天文台)	10 : 30	R14a MAGNUM project (6) 超新星 SN2002ap の可視赤外測光観測 富田浩行 (東大理)
14 : 48	R03a 数値銀河カタログ (ν GC) の構築 II. 合 体系譜構成法と銀河の空間分布 矢作日出樹 (国立天文台)	10 : 42	R15a すばる望遠鏡による赤方偏移 $z=5.7$ の ライマン α 輝線天体探査 安食 優 (東北大理)
15 : 00	R04a Suprime-Cam GTO 2 deg ² field にお ける銀河クラスタリングの進化 宮崎 聡 (国立天文台)	10 : 54	R16a 赤方偏移 3.4 の銀河における銀河スー パーウィンド 山田 亨 (国立天文台)
15 : 12	R05a クェーサーの空間相関の理論的解析 榎 基宏 (阪大理 / 国立天文台)	11 : 06	R17a 6.7 ミクロン銀河とその星質量密度へ の寄与 佐藤康則 (東大理)
15 : 24	R06a 銀河形成初期における重元素の非一様 混合過程 森 正夫 (専修大法)	11 : 18	R18a WIYN 望遠鏡の HYDRA による ISO 遠 赤外線銀河の多天体分光観測 大藪進喜 (東大理)
15 : 36	R07a 暗黒物質が存在する場合の柱状ガス雲 の分裂条件 西 亮一 (新潟大理)	11 : 30	R19a ダストに覆われた銀河の輻射輸送モデ ル (モンテカルロ・アプローチ) 小野寺仁人 (東大理)
15 : 48	R08a The Origin of Passive Spirals in Distant Clusters 塩谷泰広 (東北大理)	11 : 42	R20a すばる望遠鏡による局所銀河群矮小銀 河の星形成史 その 1 : Leo I 生田ちさと (国立天文台 / Nottingham 大)
10 / 8 (火)		11 : 54	R21b A Spectral Energy Distribution Model for the Local Blue Compact Dwarf Galaxies 竹内 努 (国立天文台)
09 : 30	R09a MAGNUM project (1) 新しい距離決 定法の提唱 吉井 譲 (東大理)	11 : 54	R22b すばるディープフィールドにおける矮 小銀河の形成進化 古澤久徳 (国立天文台ハワイ)
09 : 42	R10a MAGNUM project (2) 自動観測シス テムの概要と観測の現状 小林行泰 (国立天文台)	11 : 54	R23b すばるディープフィールドにおける原 始大規模構造の発見 大内正己 (東大理)
09 : 54	R11a MAGNUM project (3) NGC 4151 の ダストトーラスの大きさの変化 峰崎岳夫 (東大理)		R24c すばる望遠鏡による赤方偏移 5.7 の Ly α 輝線銀河の探査 藤田 忍 (東北大理)
10 : 06	R12a MAGNUM project (4) NGC 4639 お よび近傍活動銀河核の変光 塩谷圭吾 (東大理)		

10 / 8 (火)		10 / 8 (火)	
	R25c 補償光学による radio-loud クェーサー B2 0923+39 の近赤外高分解撮像 美濃和陽典 (東大理)		R36c NMA High Resoluition CO Survey of Virgo Spirals: III. AGNs and Gas Condensations 小野寺幸子 (東大理)
	R26c CO(4-3) observations of HM 0000-263 at $z=4.1$ 中西康一郎 (国立天文台野辺山)		R37c NMA High Resoluition CO Survey of Virgo Spirals: IV Asymmetry of CO Disk and Spiral Arms 中西裕之 (東大理)
14 : 00	R27a 特異銀河 NGC 2276 の CO 分子輝線観測 隈井泰樹 (熊本学園大)	15 : 00	R38b NMA High Resoluition CO Survey of Virgo Spirals: V. Dense Molecular Disk and strong non-circular motion in NGC4569 中西裕之 (東大理)
14 : 12	R28a 野辺山ミリ波干渉計を用いた、電波銀河 3C31 をとりまくダスト・ディスクの CO(1-0)観測 奥田武志 (東大理)	15 : 00	R39b NMA High Resoluition CO Survey of Virgo Spirals: VI. Possible Spiral Inflow for the Nucleus of NGC4501 小野寺幸子 (東大理)
14 : 24	R29a Seyfert/starburst 銀河 NGC 7469 の中心領域における分子ガス 沖浦真保子 (東大理)		R40c NMA High Resoluition CO Survey of Virgo Spirals: VII. NGC 4254: Comparison with Optical Images 祖父江義明 (東大理)
14 : 36	R30a LINER 型超高光度赤外線銀河中に埋もれた AGN 今西昌俊 (国立天文台)	15 : 12	R41b NMA High Resoluition CO Survey of Virgo Spirals VIII: NGC4303 幸田 仁 (国立天文台)
14 : 48	R31b 2 型セイファート銀河の中心核スターバーストの定量的評価 今西昌俊 (国立天文台)	15 : 12	R42b Nobeyama CO Atlas of Nearby Spiral Galaxies 久野成夫 (国立天文台)
14 : 48	R32b 近傍銀河 NGC3079 のガス円盤ダイナミクス: パーと大質量コア 幸田 仁 (国立天文台)	15 : 12	R43b M51 でのアンモニアの観測 高野秀路 (国立天文台野辺山)
14 : 48	R33b Diffuse and Gravitationally Stable Molecular Gas in the Post Starburst Galaxy NGC 5195 濤崎智佳 (ぐんま天文台)	15 : 24	R44a VERA プロジェクトの現状 小林秀行 (国立天文台)
15 : 00	R34b NMA High Resoluition CO Survey of Virgo Spirals: I. CO Atlas 祖父江義明 (東大理)	15 : 36	R45a 相対 VLBI 観測によるミラ型変光星の年周視差測定 II 倉山智春 (東大理)
	R35c NMA High Resoluition CO Survey of Virgo Spirals: II. Exact Central Rotation Curves and Massive Cores 祖父江義明 (東大理)	15 : 48	R46a 我々銀河によるマクロな重力レンズ効果 大西浩次 (長野高専)

10 / 9 (水)		10 / 9 (水)	
09 : 30	R47a 宇宙線銀河ハローの拡がり 昭海信孝 (茨城大理)	11 : 18	R61b JASMINE シミュレーターの開発 山田良透 (京大理)
09 : 42	R48a XMM-Newton および Chandra 衛星による M31 の観測 (2) 高橋弘充 (東大理)	R62c 100 万体の銀河形成シミュレーションに向けて 斎藤貴之 (北大理)	
09 : 54	R49a 近傍の矮小不規則銀河 NGC4449 の Chandra 衛星による X 線観測 宮脇良平 (東大理)	R63c 銀河の衝突実験 II 船渡陽子 (東大総合文化)	
10 : 06	R50a 楕円銀河中の明るい X 線点源の解析 佐藤桂子 (広島大理)	13 : 30	R64a バルジの色 - 等級図 神川えりか (東北大理)
10 : 18	R51a Chandra 衛星による楕円銀河の X 線ガスの系統的解析 (1) 大戸彰三 (広大理)	13 : 42	R65a 近傍銀河のバルジとディスクの質量光度比と色 吉野 彰 (東北大理)
10 : 30	R52a 近傍楕円銀河の分光学的年齢と金属量の決定 (その 2) 山田善彦 (東大理)	13 : 54	R66a 渦状銀河の表面測光と力学モデル 横尾武夫 (大阪教育大)
10 : 42	R53a 太陽近傍星から見た銀河系の初期質量関数 伊吹山秋彦 (国立天文台 / 東大理)	R67c Stellar Content of Irregular Galaxy NGC6822 小宮山 裕 (国立天文台ハワイ)	
10 : 54	R54b 中間年齢の散開星団の探査 II 長谷川 隆 (県立ぐんま天文台)	14 : 06	R68a Satellite galaxy の力学的進化 : 力学的摩擦による軌道進化 vs. 潮汐破壊 橋本良和 (東大理)
10 : 54	R55b 銀河系ハローの化学進化が示す最初の O - Zn 合成 石丸友里 (お茶大理)	14 : 18	R69a Satellite decay における Coulomb logarithm の軌道半径依存性 出田 誠 (東大理)
10 : 54	R56b Formation and evolution of E+A galaxies in merging/interacting galaxies 塩谷泰広 (東北大理)	14 : 30	R70a 球状星団の寿命の粒子数依存性について 高橋広治 (埼玉工業大人間社会)
11 : 06	R57b 銀河ダイナモと渦巻銀河の磁場構造 水谷有宏 (国立天文台)	14 : 42	R71a Stellar mass-function of globular clusters Holger Baumgardt (東大理)
11 : 06	R58b Dark Halo の merging process による DLA の起源と進化 大越克也 (国立天文台)	R72c FOCAS による不規則銀河 M82 の球状星団系観測 斉藤嘉彦 (国立天文台)	
11 : 06	R59b Dark Matter Substructure による重力レンズ効果 米原厚憲 (筑波大計算物理)	14 : 54	R73a 赤方偏移率 - 後退速度関係の再検討 (その 7a ドップラー効果における「ローレンツ収縮」) 阿武靖彦 (一)
11 : 18	R60b 質量関数と重力波で探る巨大ブラックホールの進化 細川隆史 (京大理)	15 : 06	R74b 赤方偏移率 - 後退速度関係の再検討 (その 7b 宇宙空間光静止系におけるドップラー効果) 阿武靖彦 (一)

S. 活動銀河核 (D 会場)

10 / 7 (月)		10 / 7 (月)			
10 : 00	S01a	電波銀河 Pictor A のローブからの逆コンプトン X 線の検出 阿部圭一 (埼玉大理)	14 : 00	S16a	我々の銀河系中心ブラックホール SgrA* の質量、構造 三好 真 (国立天文台)
10 : 12	S02a	電波銀河のローブにおける Energetics の逆コンプトン X 線による診断 磯部直樹 (宇宙開発事業団)	14 : 12	S17a	Seyfert 2/LINER 銀河 NGC 3079 の水メーザー観測 山内 彩 (九大理)
10 : 24	S03a	3C 120 電波ジェット中の Superluminal blob と磁場構造 永井 洋 (東京理科大学)	14 : 24	S18a	活動的銀河中心核の水メーザー 中井直正 (国立天文台)
10 : 36	S04a	AGN ジェットのファラデー回転測定分布と電磁流体モデル 木暮宏光 (東京理科大学)	14 : 36	S19a	Water Maser Survey for AGN 佐藤奈穂子 (北大理)
10 : 48	S05a	VSOP 観測による電波ローブの膨張の様子 浅田圭一 (総研大)	14 : 48	S20a	我々の銀河、M31、および M33 中心における超巨大ブラックホール群からのデカメータ・パルス電波源位置の確定 (その 3) - M33 の観測結果とパルサーを用いた方位測定精度の保証 大家 寛 (福井工大)
11 : 00	S06a	電子対プラズマの輻射流体によるジェット噴出とスペクトル 岩本静男 (阪大理)	15 : 00	S21b	VSOP で観測した NGC 1052 中心部のプラズマトーラス 亀野誠二 (国立天文台)
11 : 12	S07a	降着円盤からの電子-陽電子ジェット生成 - 円盤とジェットの相互作用について - 山崎達哉 (阪大レーザー研)	15 : 00	S22b	相対 VLBI による活動銀河中心核のブラックホール位置の決定 須藤広志 (東北大理)
11 : 24	S08b	QSO 0212+735 の VLBI 観測 榊原誠一郎 (鹿大理)	15 : 00	S23b	Astrometric Microlensing によるクエーサー中心構造の解明 高橋芳太 (京大理)
	S09c	光圧収束ジェット：カーブラックホールの場合 折原志穂 (大阪教育大教育)	15 : 12	S24a	The Sloan Digital Sky Survey Gravitational Lens Survey 稲田直久 (東大宇宙線研)
11 : 24	S10b	降着円盤を覆う雲の形状と温室効果 北畠悦子 (大阪教育大教育)	15 : 24	S25a	X 線と極端紫外光の同時観測による NGC5548 の放射機構の解明 幅 良統 (宇宙研)
11 : 24	S11b	ブラックホールのシルエット写 2002 年版 福江 純 (大阪教育大教育)	15 : 36	S26a	XMM-Newton 衛星による LINER NGC 3998 の鉄輝線の観測 寺島雄一 (宇宙研)
11 : 36	S12a	Sunyaev-Zel'dovich 効果を通じて電波銀河の energetics はどこまで探れるか? 山田雅子 (阪大理)	15 : 48	S27b	High Spectral Resolution Mapping of Narrow Emission-Line Clouds in Seyfert Galaxies with Subaru/HDS 長尾 透 (東北大理)
11 : 48	S13a	活動銀河核の統一モデルを超えた観測事実 : N_H-L_x 関係 川勝 望 (筑波大物理)	15 : 48	S28b	2 型セイファートの可視近赤外偏光分光 渡辺 誠 (国立天文台ハワイ)
12 : 00	S14a	BeppoSAX 衛星による Seyfert2 型銀河 Mrk1210 の X 線観測 大野雅功 (広島大理)			
12 : 12	S15a	1 型鉄輝線セイファート銀河 Ton S180 の「あすか」による長期観測 - 逆コンプトン散乱過程の観測的研究 - 村上未生 (東大理)			

T. 銀河団 (A 会場)

10 / 7 (月)		10 / 7 (月)	
10 : 00	T01a Morphological Butcher-Oemler effect in the SDSS Cut & Enhance Galaxy Cluster Catalog Tomotsugu Goto (Tokyo, CMU)	14 : 00	T11a 宇宙線スペクトルにおける knee の起源 村石 浩 (茨城県立医療大)
10 : 12	T02a 原始銀河団領域 4C+23.56 の近赤外多色撮像観測 田中 壱 (国立天文台)	14 : 12	T12b 銀河団内銀河の自転軸方向分布の時間発展に対する差動回転の影響 海老秀一 (千葉大自然)
10 : 24	T03a 銀河団銀河の質量アセンブリー史 児玉忠恭 (国立天文台)	14 : 12	T13b 銀河団中での熱伝導抑制 岡部信広 (東大理)
10 : 36	T04a 銀河群の X 線光度のばらつき 深沢泰司 (広島大理)	14 : 12	T14b X-Ray Study of Metal Distribution of Abell 3571 Cluster of Galaxies Hudaverdi, Murat (Nagoya University)
10 : 48	T05a 「あすか」衛星で観測された A2572 銀河団の構造と X 線スペクトル解析 森下竜男 (名大理)	14 : 24	T15b Chandra 衛星による AWM7 銀河団の観測 山崎典子 (宇宙研)
11 : 00	T06a XMM-Newton 衛星による Centaurus 銀河団の観測 高橋 勲 (東大理)	14 : 24	T16b Chandra 衛星による Failed Cluster 候補 0806+20 の観測 林田 清 (阪大理)
11 : 12	T07a Chandra 衛星による銀河団中心部の温度分布の測定 川埜直美 (広大理)		
11 : 24	T08a Chandra 衛星を用いた銀河団の暗黒物質分布の研究 片山晴善 (阪大理)		
11 : 36	T09a 銀河団の Subhalo の質量関数 藤田 裕 (国立天文台)		
11 : 48	T10a 未同定 EGRET ソースと銀河団の関係 川崎 渉 (台湾中央研究院天文所)		

U. 宇宙論 (E 会場)

10 / 7 (月)		10 / 8 (火)	
14 : 48	U01a High z 銀河 3 次元マッピングによる宇宙項測定 林野友紀 (東北大理)	10 : 06	U12b 振動スカラー場モデルにおける宇宙背景放射の温度揺らぎ 平野耕一 (東京理科大)
15 : 00	U02a Narrow Band Imaging Survey with Kiso Schmidt telescope 松田有一 (東北大理)	10 : 18	U13b 時間減衰する宇宙項を持ったモデルと FL モデルの比較 小宮 全 (東京理科大)
15 : 12	U03a Local collapse model に基づく密度ゆらぎ確率分布関数の時間発展 太田泰弘 (東大理)	10 : 18	U14b 重力レンズ統計のレンズ天体 大栗真宗 (東大理)
15 : 24	U04a Spatial and dynamical biases in velocity statistics of galaxies 吉川耕司 (東大理)		U15c 可変宇宙項を考慮したモデルによる原子・分子形成と First Objects との関連 神川 強 (九大理)
15 : 36	U05a Detectability of the time evolution of bias from the galaxy redshift surveys 西岡宏朗 (広大理)		
15 : 48	U06a 粒子間力計算ボード MDGRAPE-2 を使った宇宙論 N 体シミュレーション 薄田竜太郎 (理研)		
.....			
10 / 8 (火)			
09 : 30	U07a How large is our universe? 井上太郎 (国立天文台)		
09 : 42	U08a 高階重力理論を用いた宇宙論の研究 上田誠治 (総研大)		
09 : 54	U09a 重力波を使った巨大質量ブラックホールの位置決定における干渉計の腕の長さの効果 瀬戸直樹 (阪大理)		
10 : 06	U10b CMB 非等方性を用いた初期ゆらぎの再構築 松宮 慎 (阪大理)		
10 : 06	U11b Observational Constraints on Dark Radiation in Brane Cosmology 市来淨興 (東大理)		

V. 地上観測機器 (B 会場)

10 / 7 (月)		10 / 7 (月)	
10 : 00	V01a 分散オブジェクト技術を用いた電波データ解析ツール Java 版 NEWSTAR の開発 2 池田美穂 (国立天文台)	11 : 48	V13b VERA 搭載用ギガビットサンプラーの性能評価 小山友明 (東大理)
	V02c 電波データ解析ツール Java 版 NEWSTAR 前川 淳 (有限会社マエカワ)	11 : 48	V14b 小型 22GHz VLBI 用電波望遠鏡 (CARAVAN) の製作 米沢郁人 (茨城大理)
10 : 12	V03a LEO 衛星電波を利用した大気シーイングモニタによる大気擾乱の測定 西尾正則 (鹿児島大理)	12 : 00	V15b VLBI アンテナ用 2、8 GHz 観測用の小型共軸給電部の試作と観測性能 (4) 春日 隆 (法政大工)
10 : 24	V04a NMA を用いた 183GHz 差動ラジオメータ位相補償法の基礎実験 百瀬宗武 (茨城大理)		V16c 山口 32m 電波望遠鏡による試験観測 藤沢健太 (山口大理)
10 : 36	V05a HEB ミキサーによる THz 帯超伝導受信機の開発 前澤裕之 (国立天文台野辺山)	14 : 00	V17a ASTE 計画一移設の進捗と現状 江澤 元 (国立天文台)
10 : 48	V06a 「なんてん」望遠鏡のチリのアタカマ高地への移設計画 1 水野 亮 (名大理)	14 : 12	V18a ASTE 観測制御システム 鎌崎 剛 (国立天文台野辺山)
	V07c 「なんてん」望遠鏡のチリ・アタカマ高地への移設計画 2 水野範和 (名大理)	14 : 24	V19a ASTE 搭載サブミリ波カメラの開発 IV 有吉誠一郎 (総研大)
11 : 00	V08a ギガビット分散型 VLBI 関連処理装置 川口則幸 (国立天文台)	14 : 36	V20b ASTE 雲監視モニターの開発 持田 智 (東大理)
11 : 12	V09a VERA 試験観測結果報告：ファーストフリンジ 本間希樹 (国立天文台)	14 : 36	V21b ASTE 搭載 3 色ボロメータの開発 (3) 松尾 宏 (国立天文台)
11 : 24	V10a VERA 水沢局の性能について 亀谷 収 (国立天文台水沢)	14 : 36	V22b ASTE 搭載サブミリ波フーリエ分光器の開発 高橋英則 (国立天文台)
11 : 36	V11a VERA 水沢局ポインティング誤差の 2 ビーム視野回転角依存性について 佐藤克久 (国立天文台水沢)	14 : 48	V23a ALMA Compact Array による ALMA 広視野観測の高精度化 - 2 森田耕一郎 (国立天文台)
11 : 48	V12b VERA 入来局アンテナ性能試験報告 蒲原龍一 (鹿児島大理)	15 : 00	V24a ALMA ミリ波帯受信機の開発 (II) 小川英夫 (大阪府大総合科学)
		15 : 12	V25b ALMA デュワー用カートリッジの製作 鈴木和司 (名大理)

10 / 7 (月)		10 / 8 (火)	
15 : 12	V26b ALMA 型受信機開発 (V) : ALMA band 8 受信機システムの性能評価 横川創造 (総研大)	09 : 30	V38a 那須球面鏡アレイの拡張および観測可能領域の拡大 大師堂経明 (早稲田大宇宙物理)
15 : 12	V27b ALMA 用ミリ波サイドバンドセパレーションミキサの開発 浅山信一郎 (大阪府大総合科学)	09 : 42	V39b 早稲田大学那須パルサー観測所 20m 固定球面鏡 2 素子フリッジによる観測データ報告 国吉雅也 (早稲田大理工)
15 : 24	V28b ALMA 100GHz 帯ミキサ用導波管部品の性能評価 南谷哲宏 (名大理)	09 : 42	V40b Martin & Puppelt 型 Fourier 分光器の開口合成への応用 大田 泉 (東北大大理)
15 : 24	V29b RF 帯用 3 dB ブランチラインカップラーの設計および製作とその評価 安藤浩哉 (豊田高専)	09 : 42	V41b 北海道大学 11m 電波望遠鏡の 22GHz 受信システムの整備 俣徠和夫 (北大理)
15 : 24	V30b ALMA 型受信機開発 (VI) : Band10 カートリッジ型受信機の開発 杉本正宏 (東大理)	09 : 54	V42a TAMA300 の現状 (11) 長野重夫 (国立天文台)
15 : 36	V31b ALMA 搭載ミリ波光学系素子の性能測定 木村公洋 (大阪府大総合科学)	10 : 06	V43a 地下設置の大型低温重力波望遠鏡 (LCGT) 計画 黒田和明 (東大宇宙線研)
15 : 36	V32b サブミリ波ホーンの特性評価 松永真由美 (愛媛大工)	10 : 18	V44a Japanese Virtual Observatory の研究開発 (その 1 : 計画概要) 大石雅寿 (国立天文台)
15 : 36	V33b 野辺山 45m 鏡の温度計測によるボイティング補正システムの改良 飯塚吉三 (国立天文台野辺山)	10 : 30	V45a すばる望遠鏡レーザガイド星補償光学系の開発 早野 裕 (国立天文台)
	V34c 天体を使用した電波ホログラフィー法による NMA 10m 鏡鏡面測定 1 齋藤正雄 (国立天文台)	10 : 42	V46a すばる望遠鏡搭載用 10 - 100GeV γ 線カメラの開発 浅原明広 (京大理)
15 : 48	V35b マルチビーム受信機観測システム BEARS (25-BEam Array Receiver System) 6 - フロントエンドの現状と改良 - 宮澤千栄子 (国立天文台野辺山)	10 : 54	V47a UH88 望遠鏡における京都三次元分光器第 2 号機のファーストライト 菅井 肇 (京大理)
15 : 48	V36b SZ 効果観測用マルチビーム受信機 S40M の高性能化 I 坪井昌人 (茨城大理)	11 : 06	V48a 京都三次元分光器第 2 号機 UH88 による惑星状星雲の観測 河合篤史 (京大理)
15 : 48	V37b 電波ヘリオグラフの遠隔診断システムの開発 篠原徳之 (国立天文台)		

V. 地上観測機器

10 / 8 (火)		10 / 8 (火)	
11 : 18	V49a	マルチプレックス回折格子を用いる2波長域同時3次元分光の検討 猪狩友希 (北大工)	V60c 東京大学木曽観測所 30cm 望遠鏡システムの開発 II 三戸洋之 (東大木曽)
11 : 30	V50a	反射型 VPH マルチプレックス回折格子の開発 的川建史 (北大工)	14 : 24 V61a 30m 基線光赤外干渉計 MIRA-I.2 による天体初フリンジの検出 吉澤正則 (国立天文台)
11 : 42	V51a	CCD による星像中心位置の高精度測定実験 (1) 実験装置の開発 荒木博志 (国立天文台水沢)	14 : 36 V62b 鹿児島大学光・赤外線望遠鏡計画の現状：可視光観測スタート 藤井高宏 (国立天文台)
11 : 54	V52a	CCD による星像中心位置の高精度測定実験 (2) アルゴリズムの開発 矢野太平 (理化学研)	14 : 36 V63b MIRA-I.2 の光学性能 西川 淳 (国立天文台)
14 : 00	V53a	非円形リオストップを用いた干渉型ステラコロナグラフの性能評価 村上尚史 (北大工)	14 : 36 V64b MIRA-I.2 の制御系について 松田 浩 (国立天文台)
14 : 12	V54b	FMOS(すばる望遠鏡主焦点多天体分光器)の開発 X: ELID 研削法を用いた特殊非球面プレート製作試験 持田大作 (京大理)	14 : 48 V65b MIRA - 1.2 の観測室について 鳥居泰男 (国立天文台)
14 : 12	V55b	すばる望遠鏡観測装置 FOCAS: VI. 直線偏光モード試験観測 川端弘治 (国立天文台)	14 : 48 V66b MIRA - 1.2 の光伝送路について 久保浩一 (国立天文台)
	V56c	線スペクトル偏光分光装置 LIPS の開発 秋田谷洋 (東北大理)	14 : 48 V67b MIRA - 1.2 の干渉光学系・遅延線室の温湿度・防塵環境 岩下 光 (国立天文台)
14 : 12	V57b	超伝導トンネル接合素子を用いた近赤外～可視～紫外～極端紫外域の一光子分光検出器の開発 (IV) 志岐成友 (理化学研)	
	V58c	分析による蒸着膜の評価 鎌田有紀子 (国立天文台)	
	V59c	リモート望遠鏡システムの開発 上田 篤 (広大理)	

W. 飛翔体観測機器 (E 会場)

10 / 8 (火)		10 / 8 (火)	
10 : 30	W01a ASTRO-F 搭載近中間赤外線カメラの開発 : 第一次嚙合試験結果報告 和田武彦 (宇宙研)	14 : 00	W13b 遠赤外分光観測用イマーショングレイトィングの開発 萩原紗和子 (名大理)
10 : 42	W02a ASTRO-F/IRC 中間赤外線全天サーベイ用検出器動作法の開発 石原大助 (東大理)		W14c JASMINE 計画と ILOM 計画における高精度位置天文観測について 郷田直輝 (国立天文台)
10 : 54	W03a ASTRO-F 搭載近赤外線カメラ(NIR)光学系の性能評価 金 宇征 (東大理)	14 : 00	W15b Solar-B ミッションデータプロセッサ(MDP) - XRT 機上処理の開発 松崎恵一 (宇宙研)
11 : 06	W04a ASTRO-F 搭載中間赤外線カメラ(MIR-L) 光学系の性能評価 : その 2 藤代尚文 (東大理)	14 : 00	W16b Solar-B 可視光望遠鏡・MTM 衛星搭載光学測定 末松芳法 (国立天文台)
11 : 18	W05a ASTRO-F/FIS 搭載 Ge : Ga 二次元アレイ検出器の性能評価 白旗麻衣 (東大理)	14 : 12	W17b Solar-B 衛星搭載可視光望遠鏡画像安定化装置のプロトモデル性能評価 永田伸一 (国立天文台)
11 : 30	W06b ASTRO-F 衛星搭載遠赤外線観測装置 FIS の開発状況の報告 川田光伸 (名大理)	14 : 12	W18b 気球による太陽フレア硬 X 線スペクトル観測飛翔報告 勝川行雄 (東大理)
11 : 30	W07b ASTRO-F/FIS 用極低温読み出し回路の耐放射線評価 平尾孝憲 (名大理)	14 : 24	W19a 日本における金星探査 中村正人 (宇宙研)
11 : 30	W08b ASTRO-F 搭載用遠赤外フーリエ分光器および FIS 分光モードの性能評価 II 村上紀子 (名大理)	14 : 36	W20a 金星気象観測衛星搭載赤外線カメラ 上野宗孝 (東大総合文化)
11 : 42	W09b ASTRO-F 搭載 FSTS の性能評価について 井上 周 (東大理)	14 : 48	W21a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (1) 川村静児 (国立天文台)
11 : 42	W10b 赤外線天文衛星 SPICA の検討の現状 片坐宏一 (宇宙研)	15 : 00	W22a 次期スペース VLBI を目指した 高精度大型展開アンテナの開発 平林 久 (宇宙研)
11 : 42	W11b 次期赤外線天文衛星 SPICA 用 1K 級冷凍機の開発 : II 中川貴雄 (宇宙研)	15 : 12	W23b MUSES-C 搭載用近赤外分光器(NIRS)の現状 阿部新助 (宇宙研)
11 : 54	W12a 日印共同による気球搭載望遠鏡を用いた遠赤外線分光観測 (III) 金田英宏 (宇宙研)	15 : 12	W24b 次期スペース VLBI 計画の現状と、観測システムの開発 村田泰宏 (宇宙研)

10 / 8 (火)		10 / 9 (水)	
15 : 12	W25b VSOP 2 搭載用 43GHz 冷却 MMIC 受信機の開発 I 西村知宏 (茨城大理)	09 : 54	W36a X線天文衛星将来計画 NeXT 搭載硬 X線望遠鏡の開発 小賀坂康志 (名大理)
15 : 24	W26b VSOP データアーカイブ 澤田 - 佐藤聡子 (宇宙研)	10 : 06	W37a 次期衛星 NeXT に向けて X線望遠鏡性能評価システムの開発 伊藤昭治 (宇宙研)
	W27c 月-地球 VLBI の u - v coverage の試算 松本欣也 (九大応情)	10 : 18	W38a TES 型 X線マイクロカロリメータの開発 IV 古賀丈雄 (東京都立大理)
15 : 24	W28b 多周波フィルムレンズの実現に向けたフィルムの特性評価 氏原秀樹 (国立天文台)	10 : 30	W39a TES 型マイクロカロリメータ超伝導薄膜の性能評価 森田うめ代 (東京都立大理)
15 : 24	W29b 電磁界シュミレータによるフランジモデルの解析 氏原秀樹 (国立天文台)	10 : 42	W40a 撮像型の TES 型 X線マイクロカロリメータの読み出し系の開発 市坪太郎 (宇宙研)
15 : 36	W30a ガンマ線バースト観測衛星「Swift」搭載 BAT 検出器の地上キャリブレーションの現状 岡田 祐 (東大理)	10 : 54	W41a TES 型マイクロカロリメータ X線パルスの最適信号処理 石崎欣尚 (東京都立大理)
15 : 48	W31b HETE-2 衛星がとらえた赤道上空での粒子数異常増加現象 中川友進 (青学大理工)	11 : 06	W42b 次期 X線天文衛星「NeXT」搭載予定透過型 X線 CCD の性能評価 高木慎一郎 (京大理)
15 : 48	W32b 医療用 X線カメラによる X線比例計数管内ワイヤの検査 中島基樹 (日大理工)	11 : 06	W43b 宇宙深部探査用 X線望遠鏡のデザインの検討 栗木久光 (愛媛大理)
15 : 48	W33b “テラ” レコードの MAXI データベース-超巨大天文データベース構築の試み- 根来 均 (理化学研)	11 : 06	W44b 超高精度 X線望遠鏡の開発 ~波面センサーの性能評価~ 高野晴子 (立教大理)
10 / 9 (水)		11 : 18	W45b 超高精度 X線用望遠鏡の開発 ~ CCD の性能評価~ 齋藤晴江 (立教大理)
09 : 30	W34a Astro-E2 搭載 X線望遠鏡用プレコリメータの最終試作品の性能評価 飯塚 亮 (宇宙研)	11 : 18	W46b ガス検出器 X線偏光計のコンピュータシミュレーション 中嶋雄介 (阪大理)
09 : 42	W35a Astro-E2 衛星硬 X線検出器(HXD-II)のシールド部の開発 洪秀徴 (Hong, Soojing) (日大理)	11 : 18	W47b 射入射校正法を用いた X線 CCD 検出効率の測定 白庄司貴之 (阪大理)

10/9 (水)		10/9 (水)	
13:30	W48a 多段広視野短焦点X線望遠鏡の開発-II 田原 譲 (名大理)	14:18	W52a 位置検出型光電子増倍管を用いた宇宙 ガンマ線用位置検出型シンチレーショ ン検出器の開発 富永慎弥 (広大理)
13:42	W49a プレス加工法を用いたX線望遠鏡基板 の開発 平家憲和 (愛媛大理)	14:30	W53a 高阻止能結晶シンチレータとアレイ型 フォトダイオードを用いたガンマ線検 出器の開発 中本達也 (広島大理)
13:54	W50a 半導体多重コンプトンガンマ線望遠鏡 (SMCT) の開発 高橋忠幸 (宇宙研)	14:42	W54a GaAs JFET を使用したリセット回路 秋葉 誠 (通信総研)
14:06	W51a 多重コンプトン γ 線カメラに向けたシリ コンストリップ検出器の開発 宇野進吾 (広大理)		

Y. 天文教育・その他 (B 会場)

10/8 (火)		10/8 (火)	
15:00	Y01a 天文学・天体物理学における 1981-98 年の HIP (High-Impact Papers) . II 寿岳 潤 (文明研)	15:36	Y06b デジカメによる日周運動の動画製作 小澤友彦 (みさと天文台)
15:12	Y02a 九州東海大学における流星電波観測 白鳥 裕 (九州東海大工)	15:36	Y07b CD-ROM 「X線天文学で学ぶ物理の世 界」の開発 北本俊二 (立教大理)
15:24	Y03b Flamsteed「天球圖譜」と「Historia Coelestis Britannica」の相違点 II 藤原智子 (SYRTE Observatoire de Paris / 京産大理)	15:36	Y08b 高等学校物理における天文分野の指導 方法に関する研究 ～ブラックホールで物理を～ 篠原秀雄 (三郷北高)
15:24	Y04b Sloan Digital Sky Survey SkyServer 安田直樹 (国立天文台)	15:48	Y09b 大学1年生の科学用語知識と物理コン プレックス調査 加藤万里子 (慶応大)
15:24	Y05b 日食インターネット中継の実施とその 教育利用について 縣 秀彦 (国立天文台)		

年会実行委員会

委員長	茂山俊和	(東大理)
委員	犬塚修一郎	(京大理)
	上田佳宏	(宇宙研)
	嶋作一大	(東大理)
	河野孝太郎	(東大理)
	山岡均	(九大理)
	鈴木知治	(東大理)
	加藤万里子	(慶應大) 保育室担当
	吉川真	(宇宙研) ジュニアセッション担当

年会開催地理事

山内誠	(宮崎大)
-----	-------